

■ 日時

令和7年11月18日（火） 10:30～12:30

■ 参加者

委員11名中10名が出席し、定足数を満たしたため、本会は成立した。

■ 議題一覧

- 1 「二小親子防災教室」について
- 2 令和7年度 学校評価（中間まとめ）について
- 3 意見交換
- 4 給食試食会

■ 1 親子防災教室について

（1）実施概要

- ・日時：12月20日（土）10:00～11:30
- ・参加対象： 児童・保護者、地域、中学生ボランティア
- ・目的： 災害時に必要な基礎知識・体験の提供。昨年度より体験型を強化。
- ・協力： 消防署・消防団、市役所、地域団体、中学校・学童など。
- ・ボランティア：13名が確定、20名を目標として募集継続。

（2）体験内容（予定）

- ・起震車体験
- ・防災トイレ組立・水汲み体験（人員次第で実施／展示に切り替えも）
- ・災害用非常電話体験
- ・煙体験（雨天時は不可）
- ・体験ツアー方式とし、スタンプラリー形式で各コーナーを巡る形とする。
- ・昨年実施した講演会は、本年度は実施せず。

（3）運営体制・配置

- ・体育館を中心に体験を配置。受付から動線を一本化し、参加者の混乱を防ぐ。
- ・雨天時は屋外ブースを縮小し、体育館内へ移動。
- ・当日ボランティアは 8時30分集合、体育館に集合。

（4）協議内容（主な意見）

- ・防災トイレの水汲み作業は非常に負担が大きいと、ボランティアの確保状況で判断。
- ・プールから玄関付近まで水をポンプで汲み上げる必要があり、最大800回のポンプ押し下げ作業が必要。
- ・「大変さも含めて体験すべき」「無理は不要」など意見が出された。
- ・ボランティア確保が運営の鍵。地域・大学生の協力をさらに呼びかける。

■ 2 令和7年度 学校評価（中間まとめ）

（1）授業改善（授業変革）

- ・全教員が年間2回以上の公開授業を実施予定。
- ・校内研究は、国語「読むこと」を中心に2年目の取り組み。
- ・研究授業の日は午前授業とし、午後は全員での参観に充てている。
- ・課題としては、通常授業で互いの授業を見合う機会が少ない。目的意識をもった参観が必要。

（2）ICT活用の推進

- ・副校長の働きかけにより、ICT活用率が市内上位へ大幅向上。
- ・情報主任が研修会を定期実施し、放課後の自主参加で教員のスキルアップが進んでいる。
- ・「使い方が分からなかった」教員も、研修を通じて活用意欲が高まっている。

（3）家庭学習との関係（質疑より）

- ・タブレットに入力した課題は Classroom 経由で家庭でも閲覧可能。
- ・クラス替え時にデータが整理される点など、今後の運用課題が指摘された。
- ・ノートによる蓄積とのバランスをどのように取るかが今後の検討課題。

（4）情報発信に関する意見交換

- ・児童写真の掲載には制限があるため、公開範囲は限定されている。
- ・保護者向け情報は公開する一方で、児童個人が写る活動写真は鍵付きページとし、外部には非公開としている学校もある。
- ・学校広報の専門担当がいいため、発信方法に課題があるとの指摘。

（5）特別支援教育に関する意見交換

- ・卒業後の進路確保が難しく、福祉との連携が重要。
- ・高校進学が困難な場合、福祉事業所につながらないと生活が不安定になる現状が報告された。
- ・学校としてできる限り社会との接点をつくり、卒業後の生活につながる支援を行っている。

（6）地域人材活用について

- ・農家、図書館、動物ふれあい、（ワンワンパトロール）など、多様な地域人材が学校活動に参加。
- ・ただし学年によって頻度に差があり、今後は情報発信と連携をさらに強化する必要がある。

■ 3 意見交換

- ・各校の運動会にはさまざまな形があり、点数制で盛り上がりを重視する学校、点数を付けない学校、紅白対抗・応援団・表現種目までそろえた「フルスペック型」の学校などがある。勝敗があることで応援が盛り上がる一方、小学校では午前中での実施が基本となり、従来のような本格的な対抗形式は実施が難しい現状がある。いずれの形式であっても、子供たちが達成感を得られることを最も大切にすべきであるとの意見が示された。

■ 4 給食試食会

- ・栄養士や調理員から当日の献立や日頃の給食の取り組みについて説明があり、参加者は和やかな雰囲気の中で試食を行った。

■ 次回開催予定

- ・第5回 令和8年 2月 3日（火） 午前10時～